



# 新しい年を迎えて

小坂町長 細越 満

いたします。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている事業者等及び町民に対する支援策も行ってまいりました。

終息が見通せない中ではありますが、引き続き、国や県の方針を見極めながら、感染拡大を防ぐ対策、地域経済や住民生活を守る支援策について、万全を期してまいります。

令和3年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、令和元年に国外で発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、その対応に追われた一年でありました。

町民の皆さまには、広報こさか臨時号を配付し、感染予防対策の呼びかけをしてまいりました。幸いにも、小坂町内においては、新型コロナウイルス感染症の感染者は確認されていませんが、引き続き、感染拡大の防止にご理解とご協力をお願い

このような状況の中、昨年1月早々にうれしいニュースが飛び込んできました。秋田県ミニバスケットボール大会において、小坂小学校女子チームが北鹿勢として20年ぶりとなる準優勝を果たしました。

4月には、川上地区待望の新川上公民館が完成し、式典が行われました。

また、10月からは、少子化対策や子育て世帯のさらなる支援策として、保育料の完全無料化をスタートさせました。これにより、若者世代の町内定着の一助となることが期待されます。

同じく10月には、康楽館創建110年を記念して、小坂鉦山の繁栄に尽力した久原房之助を主人公とした特別公演を上演し、町民の皆さまにも無料で観劇していただきました。

11月からは、コンビニ交付サービスを開始しました。全国のコンビニエンスストア等で、マイナンバーカードを利用して住民票、印鑑証明書や所得課税証明書を取得することができるようになりました。

また、十和田八幡平国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化するために、十和田湖和井内地区に「道の駅」の整備を進めています。十和田湖への玄関口として、また地域ブランド「十和田湖ひめます」の認知度向上及び観光の回遊ルートの拠点として、国内外の多くの観光客に十和田湖の魅力を発信できるよう、令和5年度のグランドオープンに向けて整備を進めてまいります。

さて、令和3年度からは、今後10

年間のまちづくりに向けての「第6次小坂町総合計画」がスタートします。この計画の基本構想の策定に当たっては、町民への「まちづくりアンケート」結果と、まちづくり委員会や高校生からなるまちづくり未来委員会の皆さまからのご意見を反映させていただきました。

小坂町には、十和田湖をはじめとする自然と共生する豊かな環境や、鉦山の町としての近代化産業遺産など、「ひと」「自然」「文化」の様々な魅力が、現在のまちや暮らしの中に共有財産として受け継がれています。こうした魅力を地域の個性としてまちの発展に生かし、町民と共有しながら、「これからも住み続けたい」という誇りとして未来へ継承していくために、町民とともに目指すまちな姿として、『人と自然と文化を未来につなぐ魅力あふれるまち』を将来像として掲げました。住む人が愛着を持ち、訪れる人が感動するまちづくりとなるよう、皆さまの協力のもと、職員と一丸となって誠心誠意取り組んでまいります。

結びに当たり、まちづくりに対する町民皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。